

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(/)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0840.33	otamadzakusɪ [ge:ru noko]	
0896.22	bɪkkɪ no ko 〈子と母の群〉	
1708.05	otamadzakusɪ (-ʃi?)	kaeru noko
1731.89	オタマシヤクシ 〔子〕	ギョロノコ
1859.84	otamadzakusɪ (おはかし有声化した きはかし有声化した)	
2750.43	オタマシヤクシ 〔子〕	
2750.44	シヤクシノコ 〔昔〕	ギョロノコ
2761.44	〔古〕 gɛronoko	otamadzakusɪ
2763.22	〔古〕 gɛro	otamadzakusɪ


- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買付番号	地図番号	① 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(2)
おたまじゃくし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2771.64	gæro-no-ko 〈普通〉	gærogo
2783.06	〈古〉 gæro-no-ko	odamadzakusi
2812.96	otamadzakusi (ケッコロと同音) (古)	
3702.24	geropako 〈子〉	geropa
3712.15	〈古〉 gæro 〈gæro古 10人中3人位は使う〉	otamadzakusi
3712.89	geronoko (昔)	gærogo
3726.21	ケロロコ 〈古〉	オダマザクシ
3727.21	ヒロケロコ 〈古〉	カエロコ
3733.18	gæro 普通	bikki
		bikki no gæro

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(3)
おたまじゃくし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3733.22	bikkægoro (普通) gerogo トイウ	
3734.42	ヒツキノケロ (古)	
3740.82	otamadzakūsi 共通語が被調査者の使用語 倉 となっているものらしい。今おま ・記す。	
3746.76	フムダノコ (古)	オタマシキケシ
3757.09	kaerunoko  の状態のもの Furudango という。	
3761.74	gerūkūto (昔) gæro (今)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買附番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (5)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3777.32	ヶ ^ラ ゴ° (古)	
3781.49	gjarakūto (昔) gæra kūto (今)	
3782.38	gera kūto もっと小さいときはbikkī no koと いうよし。	
3784.87	ヶ ^ラ ゴ° (古)	オタマシク ^ス
4609.54	gæru ^g odo (-godo ago はゴと ^ク の中間的な 発音になることが多い。)	
4619.29	gæru ^g udo (意識ではきり言おうとすると ヶ ^カ カ ^エ になる)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >() ()は厳密にする。

資料番号	地図番号	㊤ 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		(B 除いた共通語)	(5)
おたまじゃくし		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4629.43	gērugodo <子>	kaērunkudo
4648.59	gāero no ko (?新共) はじめこう答えて、後で 否定したけれども、被調査者の調 者に対する自然の会話の中に出た ので採録した。新しい語で、 や、改まった時、使うものかもしれない。	
	gāero <多>	
	手足の有無で名かちかうかは たしかめなかつたが、008の成長した虫は	
	bikkiと答えたことから考えて、gāeroの おたまじゃくしであることはまちがいない。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は囲密にする。

資料番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (6)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4657.88	gaetsugue 〈古〉 kaeruu no ko 〈子〉	
4658.42	gerugudama (gueの部分の発音はかすがである。 同音者はgerudamaと書いていた)	
4663.06	otamazakufi ㄱ (かし共か?)	ke:riko
4665.87	ge:ruma 〈希〉	otamadzakufi
4666.51	otamadzakufi 〈古~現〉	
4679.65	ke:lunjo 〈ㄱ〉	O ⁿ dama
4685.72	otamadzakufi 外に言い方はないかと尋ねたが 答はなかった。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (7)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4688.45	odama 〈卵だけきいのでない〉	odamaye:lo
4694.95	otamadzakushi 〔北条町字長島では ge:rua tama という〕	
4697.92	kaeruno 〈上〉 〈かえるは〔bikki〕たが; ke:rino おたまじゃくしを〔bikki no ko とはいわない〉	
4698.21	kaeruno 〈古〉	
4701.73	odamadzagusui > 〈足の生えないもの〉 odama dza gusui gaerakuto — 〈足の生えたもの〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

資料番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (8)
項目名 おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4703.18	gaero (これだけで蛙の子供の意味であって、008とは区別がある。)	
4703.88	[ge:ɭaŋo]	
4704.96	タマラゴ <古>	オタマラゴ
4706.53	geɛɭaŋo [geɛɭaŋo というのは蛙のタマゴのこと、おまいているのはやはり otamadzakusi]	
4712.16	bikkinoko <希古> (008を回答してから思い出したもの)	ge:ɭunoko
4712.54	gaeɭukuta (?)	
4724.75	ge:ɭaŋo <古>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221-223	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (9)
項目名 おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4725.92	bikkinoko 〈古〉 ge:la no 手足のまじないもの。総称ではない。	kaelunoko
4731.85	zombara ko 〈古〉 odama 〈新〉	
4732.18	ge:ramo 〈古〉	otamafakusi
4736.63	NR 〈この島にいない〉	
4740.93	odamadzagusii 〈子〉	gaerongo gaerokuyama
4741.44	ガイラゴ° コ…鼻虫 カエラゴ°	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (10)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4743.61	ge:rono <古. いまでもほかの人はいう>	otamadzakusi
4743.95	*gee lomo	
4746.20	ge:lunge <総称であるとともに主に足のない方を表わす。> <足が出始めると kae lu である。>	
4753.76	*kae lu ngo	
4760.98	ge:eru*ko e は狭い u は0寄り	
4762.77	ge:ru ngo <とくに足の生えない者の>	odamadzakusi odamako

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (11)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4771.58	ke:ru noko <ke:runokoは子尾が生えてくる という。>	odamakko
4772.48	odamadzagufi <足の生えないうちをいう。>	kaeruko gaeruko
4773.78	kaeruko <上>	ge:ruko
4780.26	kaerukko <これを使>	otamadzakufi
4780.60	kaerunotjo <古>	otamadzakufi
4783.38	otamadzakufi <これを多く使>	ge:ruko
5472.91	atamaputo <古>	otamazakufi
5538.63	dobe <ドボドボ魚付モツテイと喋化したものだ>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(12)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5556.84	gjanнокo <若いはあまり使わなし>	
5564.76	otamazakufi Kは有聲化の気味あり	
5569.02	?カイルコ	
5574.42	otamazakufi <子>	gjeru noke
5576.60	otama <子>	otamazakufi
5588.78	カイロホ ^オ <J>	カイロ
5590.53	カ ^エ イルコ ^コ カイルコ ^コ	[ae] } は、一般に [e:] に変化する。 [ai] } 他の奥丹後地方に比べても、 二の化傾向。若い称である。
5595.89	<J> カ ^フ ズ ^シ コ	カ ^フ ル ^シ コ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (13)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5602.99	gættjo <古>	
5608.51	ke:luŋo <オタマジャクシの総称>	
5609.26	kæ:ruŋo <多> kaéruŋo éは独用.	otamazakufi
5611.81	gjakko <昔若い時から使い、今も使う。>	
5612.98	gaerobo:zu bo:はbo:iに近しい感じがあった。	
5613.33	otamadzakufi <若い時から使っている> kæru no ko <古><幼い時使いたが今は用いない。>(昔からotamadzakufiと いきましたかとの問いに対する反応のため)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は密閉にする。

買冊番号	地図番号	① 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(14)
おたまじゃくし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5614.62	kæru no ko 〈足の生える頃の虫〉 ge:roTKO 〈まだ足の生えない頃の虫〉	
5615.78	ke:ruTKO (rの音がかわかっている)	
5619.67	カエムコ 〈古〉 オマムコ 〈新〉	
5621.43	gærokko 〈古〉	otamadzakufi
5623.27	gærokko 〈多〉 〔gærokko〕	gærokudama
5623.85	otamadzakufi (ほの言ひはありませんかに対して)	tjintjikudama
5625.91	otamadzakufi (gæro no ko)	
5626.99	カエムコ 〈古〉 オマムコ 〈新〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (15)
項目名 おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5631.26	ge:rokko 〈古〉	otamadzakufi
5632.28	tjintjiku 〈今は用字して読みは「かたじけなく」〉	tjintjikudama
5633.45	otamadzakufi (otama-dodzo) 被調査者は聞き流していた。	
5639.47	オタマシクシ 〈タ〉	カイルツ
5641.07	sjoro sjoro 〈古 爺〉	otamazakufi
5641.73	ge:rokko 〈古〉	otamazakufi
5641.94	amakko 〈古〉	otamazakufi
5643.33	otamadzakko 〈子〉	otamadzakufi
5645.43	オタマン 〈古〉 オタマンデエロ 〈古〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕	(16)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5645.89	オタマト ^シ オ 〈多〉	オタマツコ
5646.71	タマッコ 〈古〉 オタマシク ^シ 〈多〉	
5647.27	オタマ 〈新〉 オタマシク ^シ 〈古〉	
5647.56	カエロンゴ 〈古〉	
5648.53	カエロッコ 〈多〉	オタマシク ^シ
5653.42	kaerottama 〈別名言い方はありますか?〉	otamadza kuji
5653.60	otamadza kuji {kaerottama}	
5657.06	カエロンゴ 〈古〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	<input checked="" type="checkbox"/> A 普通注記 <input type="checkbox"/> B 除いた共通語 <input type="checkbox"/> C 除いた特殊語	ページ (17)
項目名 おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5657.78	オタマンゴ<古> オタマケ<古>	オタマシクシ
5661.34	amakko } <両方をよく使う> ge:rokko }	
5661.68	?amakko <古>	otamazakushi
5662.78	ge:rottama <ge:roのたまごにから>	
5664.58	ケ<古>イロクダマ <思>	オタマシクシ
5666.10	オタマ <子>	オタマシクシ
5666.18	オタマ <古>	
5667.24	オタマンカイル<古>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () () は厳密にする。

資料番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (18)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5667.41	オタマ<少> オタマカ ^カ エロ<多>	オタマン ^カ エロ
5667.81	オタマコ<古>	
5669.12	otama(dzak)(i) <普通>	kaerokko
5671.36	otamakko <普>	
5672.75	otamadzakuji (tamakko)	
5674.06	テロテロ <思>	オタマ ^テ クシ
5674.54	so:rokudama (カエロクダマ...北信 カエロツタマ... 思いはわされる)	といつ例が

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(19)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5674.59	タマリッコ <古>	
5675.87	ケエラコ 使いよい	
5676.52	オタマジャクシ 本人 ケエロッコ 普通の人	
5677.28	オタマカエル } <昔から使っていた> オタマカエロ オタマ オタマジャクシ <音> (家庭に於ても、子供に対 お時でも)	
5677.85	オタマカエル <子>	オタマ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >() () は厳密にする。

買付番号	地図番号	④ 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (20)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5678.33	オタマヤコ <昔>	ガイルツコ
5678.86	オタマヤクシ <今のこは> オタマヤコ <子どもの時に行った>	
5679.86	kaerükkö (荒) kaerükkö otamazakfi kerokko atamadaej+N odamazakfi	
5680.34	*ge:rokko	
5681.47	otamakko <古>	otamazakufi
5684.11	ge:rokko <希>	otamazakufi
5685.02	betto:noko <?古> [ge:rokko] otamazakufi	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

頁目番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (21)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5685.37	otamage:ro 〈古〉	
5686.31	tamange:ro ((「ターランゴ」))	
5686.67	オタマシクシ 調査者の質問による答え。	オタマカエル
5687.32	オタマシクシ 〈子供たちは多く使う〉	オタマ
5688.01	オタマゴ タ	オタマシクシ
5688.86	オタマ 〈古〉	オタマシクシ
5689.98	otamakko (普通はコを伴う)	
5690.12	gjarakko [otamazakusi]	
5691.37	otama 〈かんたんにして!〉	otamazakusi
5692.53	otamakko 〈子〉	otamazakusi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (22)
007	22h-223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5696.68	otama.otamakko 〈子供の頃使った〉 otamazakufi 〈新・多〉	
5697.53	otamayairu 〈上〉	otama
5698.19	otamaykero 〈古〉 otama 〈新〉 kaerunoko 〈足の生えたもの〉	
5698.91	otama 〈昔〉	otamadzakufi
5703.70	odama*ko 〈新〉	kaeru*ko kaerunoko
5712.70	kaerukko [[*] udamakko] [otamakko]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
007	221~223	〔B 除いた共通語〕	
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(23)
おたましやくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5720.98	オタマシヤクシ 〈最も多く用いる〉	オタマッコ カエイロッコ
5723.36	derekodereko (小名濱高松崎幸子氏によれば、 derekoderekoはきいたことか ないよし)	
5741.25	kaerukombo 他の別に調査した被調査者に よれば kodo kombo	
5741.66	ke:ru kombo 〈多〉	
5750.84	ハハスコ 〈古〉	
5751.89	otamazakufi 〈多〉	otamakombotfi

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

資料番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		[B 除いた共通語]	(24)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5760.24	ke:rūkombo いはわす"か"の字リンウ	
5780.11	gorokko <普通>	
5782.32	otamadzakufi <古>	
	otama <新>	
5782.79	otamazakufi <希>	otama
5791.07	getoko <多>	otamazakufi
5792.18	otamazakufi <多>	otama
5792.62	gorota <古>	
	otama <新>	
5793.20	gearokko <これは足の吐たをさう>	otamazakufi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(25)
おたまじゃくし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6267.68	geru 〈古〉	otamadzaku
6296.27	〈古〉 ge:ri (ケイリ)	otamazakufi
6348.71	カイルコ 〈希〉	オタマ
6349.80	kaeruko (説明が「よくわからなかったか」 蛙の子ヒコ説明だったかもしれない)	otama
6356.98	〈?〉 カイルコ [タセイロと答えたか。これは めだかのヒコ]	
6357.74	カイルコ 〈古〉	オタマシヤクシ
6358.87	〈古〉 カイルコ	オタマシヤクシ
6368.60	otamazakufi 〈99〉	qaerugo

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

買部番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(26)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6373.59	obembo: <黒色のた> sikinoko <赤色のた>	
6377.65	カイルコ <古>	オタマジャクシ
6386.66	kaeru <古>	
6389.98	*ゴア口	
6394.78	カイルコ <古>	オタマジャクシ
6395.61	otamadzakuji ① 大人はkaeruという。	
6403.62	otamadzakui'i (昔からいう)	kaerünoko
6406.77	otamadzakuji <昔から=ういう>	
6407.28	(^カ ka)	オタイルコ

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

頁番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (27)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6407.43	カイルノ 〈古〉	オタマジャクシ
6409.00	カイルノ 〈古〉	
6410.45	オタマジャクシ (新?)	
6411.33	オタマジャクシ (新?)	
6411.66	*ギャリノ	
6411.80	?カイルノ	
6412.12	オタマン 〈希〉	オタマン
6412.91	otamazakushi 〈何か別の二とはがある〉	
6415.78	gja:rugo 〈古.希〉	otamadzakushi
6415.83	gja:rugo 〈古.希〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (28)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6418.75	ㄗ ^ハ ア ^ル コ 〈古〉	
6419.25	ㄗ ^ハ ア ^ル コ 〈古〉	
6420.34	オタマジャクシ (新?) (ギヤア ^リ コではなからたか)	
6420.58	オタマジャクシ〈?新〉	
6422.77	〈?〉オタマジャクシ	
6424.20	otamazakushi (手足か出ぬがオタマジャクシ 足かハエタヒのヤウである。)	
6424.89	otamazakushi 湯原町種 gae:ruo	
6426.04	do:ranno 〈古〉	otamazakushi

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (29)
項目名 おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6427.27	otamadzakufi (二の外の言い方はないようであった)	
6428.13	カ ^ア カ ^ア ロ ^コ <古・今>	
	カエロ ^コ <古・今・上>	
	オタマ <新>	
6429.61	カ ^ア カ ^ア ル ^コ <古>	オタマ ^シ ク ^シ
6436.33	kaerunoko <古>	
6439.17	tjitijiko <昔>	otamaza kufi
6454.88	オタマ ^シ ク ^シ <足の出ていないもの>	
	kjæ:rugo <足が出るとkjæ:rugo>	
6458.08	オタマ ^シ ク ^シ <新・昔も一つあった>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は破密にする。

買付番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (30)
項目名 おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6458.40	?カイルコ 〈居ない〉	
6458.91	カイルコ 〈足が生えかけたもの〉	オタマ
6464.23	gja:ruŋo 〈古〉	オタマジヤクシ
6467.73	gaerugo ① kaerunoko	
6471.59	カイルコ キヤルコとまでならず	
6472.53	カイルコ カイルのヤテ"ジ"は足カツイトルなと云う	
6476.13	オタマジヤクシ 〈 オタマ カルソコ 〈古〉	オタマジヤクシ
6479.51	gairugo -g~-ŋ-	
6479.95	カイルコ" もう一フ先あり	
6480.41	トバサ 古	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(31)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6482.75	<古> gaeru.	
6485.82	カイルゴ (オノ者が考えている被調査者に助け舟のよりに言いたしたので。被調査者は、思いついた形で、それを認めた。)	
6486.07	オタマジャクシ 二の地の他の調査ではカイルゴであった。	
6486.93	オタマジャクシ <希>	オタマジャクシ
6487.43	カイルゴ <オノバ(尾のこと)のある間は手足の有無にかかわらずカイルゴ>	
6488.48	gaerugo <古>	otamazakushi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

買付番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記	ページ (32)
項目名 おたまし <small>くし</small>		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6491.49	kzeru no ko <足が出ていて、まだ尾の消えた いのをいう。>	otamazakufi
6491.65	haraban <色の黒い間 は、ニフ呼ぶ。>	
6500.88	denderano <古>	otamazakufi
6501.92	カイル <small>イ</small> <傳> 村全体が砂地であり、田が ない。従ってオタマシクシな土地の実物は、この 村ではおめに掛らぬようである。	
6509.43	カ <small>イ</small> ロ <small>ク</small> タ <small>マ</small> <古> オタマ <small>シ</small> コ <若い者に対して>	カ <small>イ</small> ロ <small>ク</small>
6513.24	ga:ruko <古>	otamazakufi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (33)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6516.85	カイロコ [カイロコとは発音しなかった。]	オタマシクシ
6519.67	〈古〉タマコ	カワスノコ
6521.94	カイル ^o コは[ɲo] ゴは[go] カイル ^o この地は語中尾カ行濁音が[ɲ]に 発音されうるが、余り多くない。	
6523.54	kaeruko 〈古〉	otamadzakusi
6525.05	kombariko 〈古〉 gya:ruko 〈中年以上〉	
6532.30	カイルコホ ^o 〈ヤ・古〉	オタマシクシ
6534.85	tamatjin } 〈古〉 tamatjijiko }	kaeruko

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (34)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6535.90	kzeruko 008.009は -kairuであった。	
6537.06	?otamazakufi	
6539.78	*taberokko	
6541.27	オタマシヤクシ〔カイル〕〔ガイル〕	
6542.27	カイル 〈古〉	オタマシヤクシ
6542.32	カイル 〈古〉	オタマシヤクシ
6543.52	ガイル ㊦	オタマシヤクシ
6545.41	gzeruko 〈普〉	
6545.88	gzerugo 〈ぶつ〉百姓などが使う。)	
	otamadza kuji 〈お座敷で使うことは〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (35)
項目名 おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6547.79	otama <上.希> <男女とも使うが上品であり一般的ではない。>	ze:ra Φuyu
6548.26	otamaζakuji <新> <昔行か別の言い方だ。あつたか思い出せない。>	
6548.82	otamaΦuyyu <古>	otamazakufi
6551.52	カ"イルンホ" <オタマジャクシという語は知っているがカ"イルゴ"使わない。>	
6551.77	otamazakufi (再度.他に言い方はな ^か かと確めたが.本人はこうしか言わなかったという。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (36)
項目名 おたまたまくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6553.22	gariko (蛙子)の音変化形である。	
6553.47	gairuko (びつろ)	
6553.83	kaeru no ko: 三語の意識なく、一語として把握されている。例えば003は、三語である。004は一語である。一語の意識の時は、	
	カエルゴー } のようにアクセントが クモノエー	
	最後にくる。「クモノエ」と比較せよ。	
6555.65 <#>	gairunoko [gairungo]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () () は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (37)
007	221~223		
項目名			
あたましゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6557.36	Φuɣɯntaiɾo < ニコの方をよく使う >	Φuɣɯntsu
6557.77	{tahugu}	
6558.37	ge:roko < 古 >	
6560.22	NR [オタマシクシ]	
6562.22	べべダソコ" (最初の答え) べべランコ" (繰返して言った時の形)	
6564.33	genjorodama < オタマシクシは最近の子供が 学校で習ったものを使っているに 過ぎない。 >	
6565.22	オタマシクシ < 近頃は多い。 >	ガエルコ"

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕	(38)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6566.51	huugu 〈学校へ行かふはこのよりに言っていた。 otamadza kufi というのは、学校へ行か から。〉	
6568.09	otamazakji (T. dodog-ko)	
6572.22	カイルコゴロ 〈古〉	
6572.29	kairukodama 〈最近の子供は「オタマシクシ という。〉	
6572.55	otamadza kufi ① gaerugo	
6573.71	tag koro 〈子. 古〉 〈「タンコロ」は子供の肝に使った。 kairuko 〈新〉 今の子供は「カイルコ」という。オタマシクシ は知っているが、使わない。〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

買付番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記	ページ (39)
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6581.52	カイルコ° <古> カイルコ° <自分の使用語>	
6583.19	otamazakufi (「他の言い方は?」と尋ねたが、 「他のこととは言わぬ」と答えた。)	
6583.93	koimara 1番目のaの方が少し狭い。	
6591.02	オタカシヤクシ <共通語的> ケニコ <昔からのニとは>	
6592.10	オタマ <略したいい方>	オタマシヤクシ
6592.35	otamazakufi (「ほかにないか」と聞かれたが、 昔からケウイウ母。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (40)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6593.30	otamadza kuji 〈少し大きくなったもの〉	kaenunoko*
6595.32	カワズノコ (此の辺の地形から判断するとあまりにウ いうものはいないようである。)	
6600.97	tamakko 〈今のこどもは言わない〉	
6601.93	otamakko 〈古〉	otamadza kuji
6603.82	カ ^ハ ル ^ル コ [ルの子音は人 ^ハ で硬口蓋の側音] カ ^ハ ル ^ル コ	
6604.38	ヒ ^ハ ク ^ク ヲ 〈少ない〉	ヒク
6608.69	otambaba: 〈古〉	otamazakuji
6609.05	(古) オママ 〈今もウエとカがある〉	オママ ^マ ヲ ^ヲ ク ^ク

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(4/)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6626.30	otamazakufi 〈昔〉	otama
6629.98	ge:ro 〔希〕	
6630.82	taberokko 〈古〉 tabero 〈古〉	
6640.29	otamazakufi 〈昔からこれ以外の言葉はない〉	
6643.92	otamazakufi 多	kaetu no ko
6645.01	otamazakufi	
6645.01	Fuugu 初時	otamazakufi
6646.23	zizi'ko 〈古〉	oba ku dozo:
6651.32	debete'ko 〈古〉〈子どもは今もい〉	otamazakufi

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	㊤ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(42)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6652.77	otami 希	otama'to
6657.96	NR <kzeru?> <この村には田んぼがないから、コウイウ虫の 名は分らない>	
6661.02	gue:to'to <古>	
6667.81	NR 田がないから、いない。	
6677.41	NR <おともこの島にいない>	
6677.70	otamadzakui <ただし、いない>	
6697.39	NR <いない>	
6697.49	otamadzakui <ただし、いない>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕	(43)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6697.59	otamadzakufi 〈ただし島にはいない〉	
6698.61	NR 〈いない〉	
6711.60	ŋupparidozui ŋiはŋeの中間音	otamazakufi
7208.97	〈古〉bo:huri (bo:huliに近い発音. riの母音が脱落し. riは舌音に近い)	otamazakufi
7229.75	〈古〉ドンボ dompo	オタマヅク $\text{ota} \text{ma} \text{z} \text{a} \text{ku} \text{fi}$
7246.45	NR ただし同島の神の浦ではtabukuroといふ。	
7249.95	オタマヅク $\text{ota} \text{ma} \text{z} \text{a} \text{ku} \text{fi}$ ビョコ, ビョコなどの方音形の有無をたしかめたがこれを用いると確実	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

賞 賜 番 号 007	地 図 番 号 221~223	① 普通注記	ページ
項 目 名		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(44)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7258.89	*donku no ko	
7275.07	ドンクドンコ (古)	
7279.93	otamazakusi donku:go	(donku:go は土井首小学校が 始ってから使われた新しい語形 だという。や・疑わしいが otamaza -kusi が早くから使われていたよ)
7289.31	otamazakusi〔新?〕	
7302.66	otamaza kusi	茅屋は砂地なので、寺の池に いるくらいだ、
7302.71	eriko (認) (築)	(gerikonga 落ちもの)

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

実用番号	地図番号	① 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(45)
おたまじゃくし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7303.29	otamazakushi <(ヒキコ ヒキコなし)>	
7305.13	オタマジャクシ <タ>	カエルコ
7308.33	otaFukue <小学校へ入る以前>	otamadzakushi
7313.34	ge:riko (花)	
	ge:riko (多)	
7316.65	taira <古>	otamazakushi
7318.04	tabukue <田に11るから>	
7320.59	bikō <水の中で泳ぐ間>	
	bikino ko <手足が出来る様になってからの体>	
7321.46	ge:riko <古>	otamazakushi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(46)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7321.93	E ^{ny} ko (ビキノコの意)	
7322.81	(多) otama dza kuji (少) biki no ko (土語ではこの方が多いと 観察する。多少は本人の申立てに よる。)	
7323.02	biki no tsu ra kaki (昔)	
7324.24	otaΦu kuu men men (お多福面々の意か)	
7325.84	ge ŋi 〈古〉	otama dza kuji
7326.41	kintaro:d.uti <金太郎の種の意味。形から きている。〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(47)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7330.91	imorja: (?) (若い同席者は imorja: はいもりを さすというが被調査者は虫王の子を さすと主張)	bikkinkjæ: ro
7331.27	biki no ko (多) biki no ko (少)	
7336.54	otamadon <古>	otamaza kyŋi
7338.55	ta: buku <ta no Fuku ですね。Fuku=Fugu>	
7341.42	?E ₁ キノ biki: noko 他の言語があるらしいか、思い 出せなかつた孫子。	
7341.47	ビキノ biki noko <古>	おたまじゃくし otamaza kyŋi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は緊密にする。

質問番号	地図番号	③ 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(48)
おたまじやくし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7342.12	ge riko (gae ru ko のつあたまのこみられる)	biki no ko
7342.72	〔bik go〕 視調査者が妻君に聞いておもいたしたことは。	
7342.76	tanzaku no ko (オタマシヤクシなし)	
7349.07	otamazakufi (ge:ru という人もある。32年調)	
7350.21	ドンクウコ donku: no ko <小さい時は蛙の子にも蠶の子も別せす"ドンクウコとよぶ">	
7350.96	ドンクウゴ donku: go <尾のついているのがドンクウゴ。ドンクウの子だからドンクウゴというけれど、Eがビキの子もつうドンクウゴとよぶ。>	

ビゴ biggo

<尾がきれてからいう>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (49)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7351.09	bi:q:0' (ヒキノの筑後的発音 ビーッゴー)	
7353.03	{otemezakuji} {新?} 同席の役場の男(30才)	
7354.23	gerako <ヤ・古> ge:ju:ko <ヤ・希>	オたまじゃくし
7361.17	(?) ヒキ	ヒキノ
7362.67	カイルノ <新>	オたまじゃくし
7363.12	フクドンコ ギャルコなし	
7367.61	bakunoko <希>	ge:renoko
7368.32	bakunoko <古>	otamazakuji
7371.54	{*}ドンゴ" 以おいていた由	オたまじゃくし

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は囲密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(50)
おたまじゃくし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7371.93	donku: no ko 〈黒いヒ.うすみどりのとでは種類や名もちがうようにヒいうが、はっきししない。〉	
7373.23	カエルンゴ 〈新〉	ワクドンゴ
7374.15	*ヶ子口	
7375.71	gë:ro ë...標準語のエの音と異なる。 「表記法の説明」参照	
7375.96	gë:ro ë...「e」の変母音 gëro 若い者や子供は標準音のgeroと発音するものが多い。説明書参照	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕	(52)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7386.56	otamaza ku ₍₁₎ i ₍₂₎ 〈新〉 〈子供の頃はイナと言っていたか、 忘れた。〉	
7392.94	ドンコ 〈新〉	ゴゴリヤ
7394.14	biki no ko ヒキガエルのオタマジャクシなら donku no ko という。	
7394.60	ヒキコ 〈新〉 ゴゴロ 〈古〉	ワクトロコ
7401.60	otama 〈子〉	otamaza kueji
7403.16	〈qzerugo〉 〈qzerugoはOmbikiのイモの音〉	otamaza kueji

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (53)
項目名 おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7403.21	otamazakueji 〈足が出始めても名は特別に変えない〉	
7404.56	kaeru no ko [足が出たしたのさいう。]	otamazakueji
7406.53	〈借は〉 gja:ru noko	otamazakueji
7412.31	kaeru (急を押したが、さうだという。 *kaeru no ko" というのは めろちにはあるが、この形のはきかない。或いは、個人的なよひ方かとも思われる。)	
7412.71	nabe futa (隠語風の言い方かという感さうけるが、被調査者はさうでないといつた。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	㊤ 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		(B 除いた共通語)	(54)
おたまじゃくし		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7414.43	kaetu 〈99〉	
7417.22	okamajo (今)	
	garungo (古)	
7423.12	garu 〈子〉	otamazakuji
7424.60	kaebu (「かえる」に虫科斗の意のある=ト。 全国方言辞典で再認識した。)	
	otamazakuji 〈子#などに〉	
7431.08	〈古〉 buki	
7432.95	ga:ruko 〈古〉	otamazakuji

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記	ページ (55)
項目名 おたまじやくし		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7440.69	kaeru no ko (奥の川部落では imomori という人もある。32年調)	
7446.26	kaetu (?)	
7452.20	otamazakushi <英>	
7460.23	okokoito (a) (a)は (a) よりもう少し大きくなって gaiito (b) 茶色になったもの。	
7461.39	atamabuto <古>	kaetu no ko
7470.72	NR. <どぶや、水田がほとんどないし。 実物を見たことかすい。>	
7500.24	カイルコ <古>	オアマシクシ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (56)
007	221~223		
項目名			
あたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7500.43	カイルゴ 〈古〉	オタマシヤクシ
7501.72	カイルゴ 〈古〉	カイルゴ
7502.91	カイル 〈蛙はヒキット といふ。〉	
7504.11	*ga'erogo	
7504.64	(?)otamazakufi	
7510.18	カイル / コ 〈古〉	カイル / コ
7511.66	チンゴクソン 〈語源はわからない。〉	
7511.93	ダンバ 〈なせにういのか命知の理由不明。〉	
7523.05	カイル 〈古く子供の頃、カイルカク(おたまじゃくし)あたまじゃくしといふ。〉	オタマシヤクシ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	① 普通注記	ページ (57)
項目名 おたまじゃくし		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕					
7659.31	otamazakuji 20年くらい前には島へ持ってきた。						
7659.40	NR 昔はいなかった						
7659.53	otamazakuji 昔はいなかった						
7659.62	otamazakuji 最近はいってきた。						
8302.19	<table style="display: inline-table; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">ケ^ウ</td> <td style="border: none;">[gẽu]</td> <td rowspan="2" style="border: none;">} 〈古くからのニの辺のナマリ〉</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">ケ^イ</td> <td style="border: none;">[geiu]</td> </tr> </table>	ケ ^ウ	[gẽu]	} 〈古くからのニの辺のナマリ〉	ケ ^イ	[geiu]	
ケ ^ウ	[gẽu]	} 〈古くからのニの辺のナマリ〉					
ケ ^イ	[geiu]						
8304.66	bikkjoro 〈多く使々と思う〉	bikkoro					
8311.59	gefj noko 〈古〉	dogkongko					
8312.75	getejko 〈古〉	otamazakuji					
8315.89	geri 〈多〉	gerenoko					

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (58)
項目名 おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8324.26	gero 〈多〉	geinoko
8324.83	gei (iの音は弱い。しかしge:ではない。 ニハハケリのりの1音化である。)	
8330.58	otamazakufi 〈子〉	dongkonko
8331.12	otamazakufi 〈子〉	ge:kuho
8332.42	geinoko (古)	otamazakufi
8335.11	geri rii破裂あり	
8335.48	〈?〉 q ^w eri	
8341.46	wahadzigoto 〈古〉	odamazakufi
8342.51	gei 〈古〉	dongkonko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
007	221~223		
項目名		(B 除いた共通語)	(59)
おたまじやくし		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8352.29	otamaza kuji <水田がなく実物を見ないけれど>	
8353.68	geinoko <古>	otamaza kuji
8360.39	appinnoko (アッピッコ, アッピッコでよい筈だが、 の ₁ に当る助詞が重複)	
8373.43	geinoko ④ gei	
9313.55	igaire: <蛙の子になる茶の卵のしるいと"ろと"ろた かたまり>と説明するが、それがオタ マジクシそのものをもたしているらしい。 絵を見ても igaire と答える。	

注(種子島西表の igaire, 野間の igarec
同語と思うが、これはくもの巣の意味(いる。))

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の< > () () は縦書きにする。

買付番号 007	地図番号 221~223	③ 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(60)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0256.89	komorigama <コモリは穴のこと>	
0294.66	ho:ibu (発音上の相違、下段が本来)	
	Fo:ibu	
1148.59	atabi:nu kwagwa: 古	
	utamadzakuji 新	
1167.01	tabe:ru 古	tabiru
1231.72	zu:mi:iat'adik'a (尾の紐えた鞋)	
1242.00	iat'abitjanuk'wa: (?)	
1242.72	bo:ɕu:ja: ?	
1250.59	(?) zaminukwa:	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (61)
007	221~223		
項目名			
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1251.73	?bu=na:ŋgwa	
1260.78	(?)za min d:	
1270.26	?atabi:nukwagwa	
2068.08	NR 蛙はいない。戦後にイモ蛙が入った	
2072.20	otamadzakufi <昔は与那国にいない。31#の頃 みたことない。学校で習った。>	
2074.69	kairo: <カ>	abutanuφâ:
2075.22	autanuffa <北島南島にはいない。>	
2085.69	NR <おたまじゃくしはいない。>	
2086.03	otta: (蛙はotta おたまじゃくしはotta:)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	A 普通注記	ページ (/)
項目名 おたまじやくし		(B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0894.61	otama'dza kueji 〈今〉	bi kki no ko 〈子と母の併〉
2720.75	オタマジヤクシ 若い人	ヒキノ
2775.45	(英) otamadza kue si	gero-no-ko
2811.01	*オタマジヤクシ	カエルノ
3734.42	ケラゴ (他)	ヒノキノケラゴ (古)
3737.32	{フルタ"ゴ}	ケラゴ
3754.76	オタマジヤクス (新)	ケラゴ
3777.32	オタマジヤクス (新)	ケラゴ (古)
4654.52	otamadza kueji 〈英.子〉(新)	kzeriko 〈古一現〉

〈昔使い 現代も

友人に対しては用いる〉

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(2)
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4663.49	otamazakuji <新>	keriko~keriko
4675.62	otamadzakujisi <上><希>	gaerokko
4685.10	otamadzakujisi <新. 学校へ上, てから使うようになった語>	ge:ru no ko
4685.28	otamadzakujisi <上><其>	daruma
4698.15	odama <甲の時期のもの>	ke:lu go
4698.21	otamadzakujisi <今>	kzeruno <古>
4704.45	オタマシクス <甲ノウチ>	オタマシクス
4711.49	オタマシクス 小中校の生徒などがつかうのみ	オエロゴト
4713.60	otamadzakuesi <新>	ge:lonoko
4715.98	otamadzakuesi <子. 其>	ge:sano

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	A 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		(B) 除いた共通語	(3)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4724.75	otamadzakufi <新>	ge:lunjo <古>
4730.45	odamadzagusü <共>	gaëragu
4742.37	<*> (ge:lano) (golone:) ... (子供たちがまねていう)	otamadzakust
4753.76	otamadzakust <共>	*kzelunjo
4760.64	{otamadzakusü} <新>	gaëroko gäroko
5569.02	<共> オタマ ^ア クシ	?カエルノ
5569.36	<共> オタマ ^ア クシ	オタマ
5577.06	<共> オタマ ^ア クシ	ドンビッキノ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	A 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		[B] 除いた共通語	(4)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5578.27	オタマ ^イ クシ 〈英〉	オタマ カイロダマ
5579.79	オタマ ^イ クシ 〈英〉	ドンブ ^キ ク ドンヒ ^キ ク
5586.56	kaerū no ko. 優	otamadzakū <i>i</i> .
5587.74	オタマ ^イ クシ 〈英〉	カイロ
5589.30	オタマ ^イ クシ 〈英・希〉	カイロ
5595.89	〈他〉 ヨ ^イ ヨ ^ク	フ ^イ ル ^ク 〈イ〉 カワス ^ク
5598.67	〈英〉 オタマ ^イ クシ	カイロ カイロ ^ク

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	21~223	(B) 除いた共通語	
項目名	おたまじゃくし	(C) 除いた特殊語	(5)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5602.99	otamadzakufi 〈共.子〉	gættjo〈古〉
5611.81	otamadzakufi (新)	gjakko〈昔若い時から使って い.今も使う。〉
5615.28	otamadzakufi 〈共.子〉	gɛ:ruŋo
5615.65	otamadzakufi (共)(子)	gɛ:ru no ko gɛ:ru kko
5624.85	otamazakufi 〈共〉	gɛ:ru kko
5631.16	otamadzakufi 〈共〉	gɛ:rokko
5631.75	otamazakufi 〈新〉	gɛ:rokko
5633.81	otamadzakufi (共)	kjarottamɔ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買付番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(6)
おにまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5633.96	otamadakuji 〈新〉	zuzugottama
5635.48	オタマシヤクシ 〈新〉	オタマケエロ
5636.74	オタマシヤクシ 〈新〉	ケエロヤタマ
5641.13	〈新〉otamadakuji	ge:rokko ge:rokudama
5644.74	オタマシヤクシ 新	オタマく上)
5645.27	オタマシヤクシ 〈新〉	ババヤク
5645.43	オタマシヤクシ 〈新〉	オタマンく古)
	オタマンシヤクシ 〈新〉	オタマンケエロく古)
5645.89	オタマシヤクシ 〈新〉	オタマヤク オタマドシヤクオク多)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	A 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		(B) 除いた共通語	(7)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5647.56	オタマシ <small>マシ</small> クシ <新>	カエロンゴ" <古>
5651.45	otamadzakushi <#>	ge:rokudama
5652.22	otamadzakushi <土・希>	ge:rokudama
5652.81	otamazakushi <新>	ge:rottama
5653.65	otamadzakushi <#>	otama
5657.06	オタマシ <small>マシ</small> クシ <新>	カエロンゴ" <古>
5661.34	{otamadzakushi} <#>	amakko
		ge:rokko <amakko と両方とも使われる>
5664.51	otamadzakushi <改まったときに>	ge:rottama

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	A 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		(B) 除いた共通語	(8)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5666.18	オタマ ^シ クシ<新>(新)<ラジオ デュー>	オタマ<古>
5667.24	オタマ ^シ クシ<新>	オタマツカ ^カ ・エルク<古>
5667.81	オタマ ^シ クシ<新>	オタマコ<古>
5670.47	otamadzakusi<新>	ge:rokko
5671.00	otamazakusi<#>	ge:rokko
5671.36	otamadzakusi<新>	otamakko<普>
5671.38	otamazakusi<#>	amakko
5672.67	otamazakusi<新>	otamakko
5674.59	オタマ ^シ クシ<見>	タマリ ^リ コ<古>
5675.87	オタマ ^シ クシ … 共	テ ^エ ゴ 使 ^い ない

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語)	
項目名		(C) 除いた特殊語)	(9)
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5678.33	オタマ ^マ ジャクシ 〈英〉	ガエルツコ オタマツコ 〈普〉
5679.31	ke:rokko 〈在〉	otama (d)zak(+)
5680.34	gaerokko 〔domb+kinoko〕 〔dja:ran ko 古〕	*ge:rokko
5680.98	otamadzakuji 〈英〉	otamagaeru
5682.37	otamadzakuji 〈土〉	otamakko
5685.37	otamadzakuji 〈英〉	otamage:ro 〈古〉
5723.36	(odamakko)	derekodereko (小名濱町 松崎幸子氏 によれば これはきいたことかないよ)

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221-223	A 普通注記	ページ
項目名 おたまじやくし		B 除いた共通語	(10)
		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5741.66	odamazakusi <新>	ke:rukombō <多>
5750.84	オたま ^シ クシ <新>	ハババノコ <古>
5780.11	odama(d)zagūsi(+)<新>	gorokko <普通>
6287.71	otamazakusi <新>	ge:mnoko
6373.84	otamadzakusi <新>	kaerugo
6386.66	otamazakusi <新>	kaeru <古>
6387.62	otamadzakusi <新>	kaeru no ko
6389.98	オたま ^シ クシ	*コ ^シ ノ
6408.88	オたま ^シ クシ <共希>	ケ ^シ ノ
6409.00	オたま ^シ クシ <新>	ケ ^シ ノ ^シ ノ <古>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(11)
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6411.66	オタマジャクシ<?>	*ギャリコ
6411.80	オタマジャクシ<新>	?カイルコ
6415.23	[otamazakufi] (被調査者の妻が答えて、 被調査者もなっとした)	gja:rugo
6415.83	otamadzakufi <今はこう言うことが多い>	gja:rugo <古・希>
6418.75	オタマジャクシ<新>	ケアイルコ<古>
6419.09	オタマジャクシ<新>	キャイルコ
6419.25	オタマジャクシ<新>	ケアイルコ<古>
6419.50	オタマジャクシ<希>	ケアイルコ
6423.75	otamazakufi<新>	kæ eru ko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	A 普通注記	ページ (12)
項目名 おたまじゃくし		(B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6427.40	otamadzakushi [新. 学校で習った]	do:ranjo
6429.65	オタマシヤクシ 〈共希〉	カイルコ
6436.33	otamadzakushi 〈新〉	kaerunoko 〈古〉
6439.61	オタマシヤクシ 〈共新希〉	カイルコ
6461.27	オタマシヤクシ 新	カイルコ
6476.13	オタマシヤクシ 〈新〉	カイルコ 〈古〉
6477.02	オタマシヤクシ 〈新〉	カイルコ
6482.75	〈新〉 otamazakushi	〈古〉 gaeru
6491.65	otamazakushi 〈土〉	hataban 色の黒い間は
6492.11	〈新〉 otamazakushi	gaeru no ko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 221~223	A 普通注記	ページ
項目名 おたまじゃくし		(B) 除いた共通語	
		(C) 除いた特殊語	(13)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6506.03	〈英〉オタマ ^シ クシ	カ ^イ ロ
6506.55	〈英〉オタマ ^{ジャ} クシ	オタマ カ ^イ ロ ^コ
6508.06	〈英〉オタマ ^シ クシ	カ ^エ ロ
6517.65	〈英〉オタマ ^{ジャ} クシ	オタ ^ク ク ^ツ シ
6518.30	〈他〉オタマ ^ゴ ツ ^シ 〈他〉オタマ ^ゴ ツ	オタマ ^シ クシ
6518.87	〈英〉オタマ ^シ クシ	タ ^マ コ ^ロ
6519.43	〈英〉オタマ ^シ クシ	カ ^イ ロ ^ク タ ^マ
6519.67	〈英〉オタマ ^シ クシ 〈他・英〉オタマ ^コ	カ ^ワ ス ^コ 〈古〉タ ^マ コ ^ロ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 007	地図番号 22h-223	A 普通注記	ページ (14)
項目名 おたまじゃくし		B 除いた共通語 C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6520.50	オタマ ^シ クシ 〈新希〉	オ ^イ ルノコ
6525.05	atamantjo 〈子供達はニウハウ〉	kombariko 〈古〉 gya:ruko 〈中年以上〉
6526.08	〈共〉オタマ ^シ クシ	オタマ オタマ ^イ ツ オタマ ^コ ツリ
6530.58	オタマ ^シ クシ 〈共〉	カイルゴ [°]
6539.78	taberakko	*taberokko
6545.41	otamadzakusi 〈上.子〉〈中年以上のものは改った 女の方をするとき使った。子供は gaerukoよりもこれを多く使った。〉	gaeruko 〈普〉

女の方をするとき使った。子供は
gaerukoよりもこれを多く使った。

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語	(15)
項目名		(C) 除いた特殊語	
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6547.09	otamadzak ^o <新>	dongutsu
6551.20	オタマシ ^イ クシ <共>	カ ^o エルコ ^o
6553.47	otamazakushi <共>	gairuko (ぶつう)
6558.37	otamadzakushi <新>	ge:roko <古>
6559.22	otamakko <主として甲中の中にあるか。人にあはは しほか ^o が生えてからでもいふ。>	otamadzakushi
6562.48	カコタマ <古> (老人の中には、さういう人もあるか わたしは使わな ^o いと)	オタマシ ^イ クシ
6568.09	gairoko <いふ人もある>	otamazakushi (T. dodoko)

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(16)
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6570.89	〔カイルゴ〕 (家人が助言した。被調査者は黙っていた。おたまじゃくし しかし、この部落ではこういう人のある ことは事実)	
6572.22	おたまじゃくし 〈新〉〈昔は使わなかったが、今使う ことがある。〉	カイルゴ°〈古〉
6575.40	(?) [kɔwazu no ko:]	ka'iru no ko:
6581.52	おたまじゃくし 〈新〉	カイルゴ°〈古〉 カイルゴ° 〈自分の使用言語〉
6582.12	おたまじゃくし 〈共〉	カイルゴ°
6582.73	おたまじゃくし 〈共〉	カイルゴ°

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ (17)
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名 おたまじゃくし		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6590.87	オタマ ^{シヤ} クシ 〈共〉	カイルコ°
6600.97	otamazakufi 〈新〉	tamakko 〈今のこどもは 言わない〉
6601.25	otamadzakufi 〈共〉	otamakko
6603.24	オタマ ^{シヤ} クシ 〈共〉	イモリ
6603.82	オタマ ^{シヤ} クシ 〈共〉	カ ^ア ル ^ル コ 〔ルの音は人で カ ^ア ル ^ル コ 硬 ^シ の傾 ^キ 音〕
6605.84	オタマ ^{シヤ} クシ 〈共〉	オオト ^{シヤ} オ
6607.18	otamazakufi 〈新〉	otama
6610.00	オタマ ^{シヤ} クシ 〈学〉	オタマ ^{シヤ} コ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(A) 除いた共通語	
項目名		(B) 除いた特殊語	(18)
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6613.77	オタマ ^シ クシ〈#〉	ヒ ^シ クシ
6620.49	otamazakufi 〈# 新〉	otamakko
6620.53	otamadzakufi 〈新〉	kaerukko
6621.34	新 otamadzakufi	otamakko
6625.66	otamazakufi 〈新〉	bagudozo:
6629.98	otamazakufi 〈新〉	ge:to 〈#〉
6630.82	otamazakufi 〈新〉	taberokko 〈古〉
		tabero 〈古〉
6643.15	otamazakufi 新	otama'ko
6643.16	otamazakufi 新	otama'kuebi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ (19)
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6650.12	otamazakuji 新	tamabanko
6655.38	otamazakuji 新	otama
6661.02	otamazakuji 〈新〉	gu:totjo 〈古〉
6710.02	otamazakuji 〈新〉	do:man
7237.67	〈新〉otamazakuji	tabittjo
7258.89	fakuji	*donku no ko
7275.07	オタマシヤクシ (新)	ドンクトンノコ (古)
7312.83	otamazakuji	bikinoko
7323.02	otamazakuji (今の子供)	biki no tsurakaki (昔)
7329.57	新. otamazakuji	dobanoko

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 其中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(20)
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7347.93	otamazakyji 〈新〉	mamebukuro
7350.21	オタマ ^シ ク _シ otamazakyji 〈新〉 ヒッコ biggo 〈オニシ成長してヒッコまわるように なったもの〉	ドンクノコ donku:noko 〈小さい時は蛙の ^も 蟻 ^の も も別れオホドンクノコ〉
7352.61	オタマ ^シ ク _シ	ヒッコ
7353.51	オタマ ^シ ク _シ 〈?#〉	シヤリコ
7357.31	(2)?	otamazakyji
7373.23	オタマ ^シ ク _シ 〈新〉	カエルノコ 〈新〉 ワクドンコ ギル
7373.92	オタマ ^シ ク _シ 〈新〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	22h223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(21)
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7373.99	オタマジャクシ 〈?#〉	オタマレンゴ
7374.15	〈?〉ヒル (?)	*オタマロ
7381.38	オタマリコ	*オタマリ ビキノコ〈希〉
7391.44	オタマシヤクシ 〈希〉	ドンクンゴ
7393.62	オタマシヤクシ 〈#〉	ビキノコ
7404.12	otamazakushi 〈新〉 こどもは殆んどこちらを使って いるので、今ではもういり方が多い。	gaerugo nabeFuta (隠語風の言い方か という感を受けるが、被調査 者はどうでもないといっていた。)
7412.71	otamazakushi 〈新〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(22)
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7413.62	otamazakushi 〈#〉	ombiki no ko
7414.43	otamazakushi 〈少〉〈改まった〉	kaetu 〈多〉
7421.38	otamazakushi 〈新〉	gairō
7421.62	新 otamazakushi	doba no ko
7430.15	新 otamazakushi	doba no ko
7431.08	〈新〉 otamazakushi	〈古〉 buki
7431.13	〈新〉 otamazakushi	doba no ko
7452.54	[ga kuko]	otamazakushi
7500.66	オタマシクシ 〈新〉	カイルコ°
7501.68	オタマシクシ 〈新〉	カイルノ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(23)
おたましやくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7504.11	otamazakufi	*ge'erogo
8301.19	オたましやくし 〈共〉	ドンクンコイ
8301.76	オたましやくし 〈新〉	ヒキコ
8302.19	オたましやくし 〈新〉	テウ [gëu] } (古からのニ) 破 ゲウ [geiu] } (タリ)
8302.55	オたましやくし 〈共〉	オロン
8303.70	オたましやくし 〈新〉	フアリ
8341.12	[ge:noko<?>] — 校長(吹土町)の財言	donkonoko
8341.94	otamazakufi 〈新〉 〈子供などには向っていつとき〉	geinoko
8345.18	otamazakufi 〈新〉 (0) (0)	geri

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
007	221~223	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(24)
おたまじゃくし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8360.39	otamazakusi 〈新〉	appinnoko (アツンコ, アツゴ でまい蓄だが、の1に当る 助詞が重複)
8362.85	otamazakusi 〈新〉	appunnoko
8363.51	odamazakusi 〈新〉	tjappunoko
9312.42	otamazakusi 〈共〉	goigko
0256.76	otamazakusi 〈新〉	bikij'kwa